

会議結果のお知らせ

令和8年度第1回宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会を次のとおり開催しました。

令和8年4月24日

宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会

1 開催日時

令和8年4月17日（金） 午後4時～午後5時15分

2 開催場所

宮古市役所本庁舎 2階 2-1会議室

3 議題

- (1) 委員長及び副委員長の選任について
- (2) まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について
- (3) 今年度の開催スケジュールについて
- (4) 第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績評価検証（案）について

4 会議の概要

別添のとおり

5 問い合わせ先

政策推進部政策推進課政策推進係 電話0193-68-9064

令和8年度第1回宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会

1 出席者（14名）

和川央、石崎武久、三河輝夫、福士明美、及川洋祐、渡部玲子、晴山純子、中沢翔馬、川口太嗣、小野寺康仁、門坂道弘、菅原結奈、渡邊聖奈、三浦宜央

2 欠席者（5名）

花坂雄大、中嶋一幾、古舘龍太、前川竜介、大洞健一

3 事務局出席者（3名）

政策推進課長 大向守、同課政策推進係長 竹田真吾、同課主任 佐々木英明

4 傍聴者

なし

5 議事等

(1) 委員長及び副委員長の選任について

事務局案として委員長に和川央委員、副委員長に花坂雄大委員を提案。提案のとおり承認された。

(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について

国の長期ビジョンと総合戦略、市の計画策定状況、市の第2期・第3期総合戦略の概要について事務局から説明した。

(3) 今年度の開催スケジュールについて

今年度の開催スケジュールについて事務局から説明した。質疑等はなし。

(4) 第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績評価検証（案）について

指標の達成状況、評価等について説明した。質疑等は別紙のとおり。

質疑応答内容

質問・意見	回答
<p>【議題(1)「委員長及び副委員長の選任について」】 <質疑なし></p> <p>【議題(2)「まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について」】</p> <p>(委員) P17_目標値を国民所得としているが、指標値について具体的に説明いただきたい。</p> <p>(委員) 総合戦略は上位計画である総合計画に内包した計画であると説明いただいたが、この市民推進委員会が出された意見はどのように上位計画である総合計画に反映されるのか。</p> <p>(委員) 上位計画の総合計画審議会があり、総合計画審議会と当委員会の関係性、当委員会の位置付けや委員に求めるものはなにか。</p>	<p>(事務局) 総合戦略は上位計画である総合計画に内包されており、総合計画において市民所得を国民所得水準まで引き上げようとして設定した指標である。目標値を国民所得としているのは、令和6年度時点での国民所得水準を目指すものとして記載した。</p> <p>(事務局) 第2期総合戦略に位置付けている各分野の取り組みは、総合計画に基づいて取り組む事務事業と一体となっている側面がある。委員会でいただいた意見は関係各課へ意見を共有し、今後の会議で意見結果に対する対応をお示しする。</p> <p>(事務局) 総合計画審議会は令和6年度に市総合計画の後期基本計画策定のために設置された審議会で、6年度に総合計画後期基本計画の策定とともに審議会としての役割を終えている。 当委員会については、人口減少対策などを中心に総合計画と一体となっている各分野の施策について、実績の評価検証などを協議いただく組織として設置している。</p> <p>(事務局) 当委員会は当初、総合戦略の策定にあたり設置し、令和6年度に当委員会でご審議いた</p>

質問・意見	回答
<p>(委員)</p> <p>P17_国民所得水準について直近の国民所得はどれくらいなのか。</p> <p>【議題(3)「今年度の開催スケジュールについて」】</p> <p><質疑なし></p> <p>【議題(4)「第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績評価検証(案)について」】</p> <p>(委員)</p> <p>この場で意見を述べるのは難しいかと思う。また、今回から委員になった方々はなぜこの指標を設定したのか理解にも時間がかかるかと思う。ひとつ前の議題にも戻るが、この場での意見または、意見提出用紙による意見結果を次回の会議で共有する進め方が適切なのか。</p>	<p>だいたうえ、第3期総合戦略を策定した。また、総合戦略の取り組みの検証を毎年度実施し、ご意見を頂いてきた。</p> <p>総合戦略は人口減少対策や地域の稼ぐ力の創出が目的ではあるが、人口減少局面において地域の活力創出など人口減少対策のみならず、様々な目標を目指して取り組む必要があり、総合計画と表裏一体のものとなっている。</p> <p>個々の事務事業の見直しや目標値の修正などを含めて、総合戦略の評価検証を中心に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>(事務局)</p> <p>資料3の17ページに記載のとおり令和6年度は327万円である。市民一人当たりの分配所得は272万円で国民所得水準を下回っている。</p>

質問・意見	回答
<p>(委員) 進め方について具体的な提案はあるか。</p> <p>(委員) これまでは事務局を通じて担当課に投げかけるといやり方をしてきたかと思うが、指標を設定した理由などを率直にやりとりする場があっても良いかと思う。次回の会議にそのような場を設けてはどうか。</p> <p>(委員) 本来であればこの場は、第3期総合戦略の評価検証を行うべき場であるが、昨年度第2期の評価検証が実施できていなかったことから、まずは第2期の評価検証を行ってから、第3期に新たな評価検証を試みたいというのが事務局の考え方と思う。 しかし、公共政策の観点から、第2期の評価検証をいま行っていることは良い状態とは言えない。昨年中に評価検証を実施すべきだったということは意見させていただきたい。</p> <p>(委員) P18__しごと分野の具体的施策として「強い水産業」の推進とあるが、さまざまな業界があるなかでどのようなビジョンで施策を設定、推進しているのか。またこの策定された計画がどのように事業を進めて、事業に反</p>	<p>(事務局) これまでは評価検証案の完成形に近いものをお示ししてご意見をいただく形だったことから、担当部署へ直接意見が届かないという点を反省している。 第2期の評価検証については、これまでの検証形態を踏襲しているが、第3期の評価検証については、担当課と直接意見を交わすことができるような評価検証方法について、内部での調整が必要だが、現在検討しているところ。 試行的な実施になる可能性はあるが、事務局としてはご意見をいただきながら進めたいと考えている。</p> <p>(事務局) 評価検証報告書は全体を通じて総括的な内容を示したものとしている。具体的な事業は資料3の23ページ以降の総合計画の関連事業に記載をしている。 第2期総合戦略では数値目標の設定時に</p>

質問・意見	回答
<p>映されているのか。</p> <p>(委員) P6__表現の仕方として「差が生じた結果となりました」ではなく、「下回りました」といったように、市の取り組みの結果と捉えられるとなるような表現に改めるべき。</p> <p>(委員) 全体的に主観的な指標が低調となったのが目立っている。例えば定住意向割合が低下した要因やその属性はどのように市は分析しているのか。</p> <p>(委員) なぜ数値が低調に推移したのかという特定は市のなかで分析に努めていただきたい。</p> <p>(委員) P18__指標の「魚市場水揚量」について、漁獲量が減少しているなかで、なぜこのような数値目標を設定したのか、設定根拠を確認したい。</p>	<p>水産業をリーディングプロジェクトとして目標値に掲げたという経緯があるため、他の産業の取り組みが見えにくくなっている。</p> <p>ぜひとも23ページ以降の総合戦略の関連事業の取り組みについて、具体性のあるご意見をいただきたい。</p> <p>(事務局) 毎年度、市民意識調査を実施しているところだが、年度によって回答者の属性や回答数にバラつきがあり、単純な比較・分析が難しい状況にあり、市としても課題として考えている。</p> <p>(事務局) 令和元年度に策定している地方卸売市場の経営戦略の目標値を引用したものになっている。</p>

以上